

新町社協だより

第81号。令和5年10-2月
向洋新町地区社会福祉協議会
会長 酒入 忠昭

向洋新町学区防災フェアに450名集う



最近、地球温暖化の影響からか山火事、大雨、大地震そして大型台風など今までにない大きな自然災害が発生しています。

幸いに、私たちの向洋新町は高台にあるため、大雨、津波の心配がなく、そして大きな地震の発生もないことから「防災意識」が薄くなっているように感じております。

そこで、この度、向洋新町社協、学区自主防災課連合会南防署青崎出張所及び南消防団青崎分団が協力して「向洋新学区防災フェア」を10月9日（月・祝）9:30~12:00まで向洋新町小学校のグラウンド及び体育館で開催しました。

小学生を始め450名の多くの皆様にご参加頂きました。始めに、4階に避難した3組の避難者をハシゴ車が救出する救出訓練を全員で見学後、参加者を4組に分けました。

そして①消火器の使い方②地震の体験③119番の掛け方AEDの使い方の4つのグループに分かれて、各々のグループが20分ずつ体験しました。

皆さんは、大変良い経験をしたと満足して帰宅されました。

認知症を理解する講演会開催64名参加

人生100年時代を迎え高齢化が一段と進んで来ました。政府の発表によると、2025年（後2年）には65歳以上の高齢者の3人に1人が『認知症』になると言われています。私は、少しオーバーな数字だとは思いますが、およそ5人に1人は『認知症』になるのではないかと思います。

私たちは高齢になるに従い「物忘れ」をします。それを放置していると「物忘れ」がひどくなり「認知症」になるのではないかと私は思っています。（間違っているかも）私たちは、いつまでも元気で生活していくためにいろんな事を行って身体を鍛えています。

軽スポーツをする、同好会に加入し仲間を作る、ジョギングをして足を鍛える等努力をしています。

しかし、簡単に頭を鍛える事は困難であると思えます。そこで、この度公衆衛生推進協議会の主催で「認知症」をもっと理解するために「認知症講演会」を10月4日（水）10:00から新町会館ホールで開催しました。

講演は「認知症関わり方について」「相談できる場所これから暮らしのこと」について勉強しました。

出席者は、当初は56名の申し込みでしたが、予想以上の64名の方が参加して下さいました。有難うございました。

認知症の方もこのまちで住み続けられる様みんなでお助け合ひましょう。



向洋新町児童館祭り開催200名参加♡



向洋新町児童館は、向洋新町小学校の開校1年後の平成9年4月1日開館しました。

児童生徒の居場所として大変重要な役割を果たしています。児童館には「放課後児童クラブ」があり60名余の児童生徒が在籍しています。

また、「放課後児童クラブ」に加入していない児童生徒も、登録する事で児童館を利用することが出来、60余名います。

向洋新町児童館では、向洋新町社協の「母親クラブ」が児童館と協力して児童生徒の居場所の充実に努めています。

児童館では例年「児童館まつり」を開催しています。

本年度はコロナ対策を行いながら10月7日(土)午後1時から3時まで開催されました。

今年のテーマは「わくわく海外旅行2023」で夢のあるテーマで大きな表示もあり、良い雰囲気が出ていました。

1階ホールでは、海外旅行の他、いろいろなゲームがあり低学年から高学年まで楽しく遊べるように配慮され合格者は判を押してもらっていました。

次から次へと入場者があり、総数250人余りの児童生徒が遊びに来て楽しんで帰っていきました。

多くの皆さんにお手伝いいただき感謝申し上げます。

子供は地域の宝です。みんなで見守っていきましょう。

